

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2023 年 3 月 15 日（水）18:30～19:35

場所：新橋駅前ビル 1 号館 6 階 605 号ダ・ヴィンチ大会議室+Zoom ミーティング

出席者：

理事：飯島、尾山、加藤、荒嶋、鈴木、北川、小坂橋、三輪、五十嵐、黒岩、坂口
（Zoom 参加）安藤、吉田、最川、高木、小川、才藤

監事：（Zoom 参加）最川、小川
（敬称略）

尾山理事の進行により、新橋の会議場と Zoom ミーティングによる会議を実施。会議開始時点での参加人数（理事の出席 13 名）が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、飯島会長からの挨拶があり議事録作成人に加藤理事、議事録署名人に北川理事を指名して、下記議案を審議した。

<審議事項>

1. 2024 年理事会・総会日程

飯島会長から、2024 年の理事会については以下の日程の提案があり、承認された。

- 1/12（金）会計監査
- 1/17（水）理事会
- 2/13（火）総会前理事会・総会
- 3/13（水）理事会
- 5/15（水）理事会

2. みさきヨット決算について

坂口事務局長より決算報告があった。みさきヨットは 9 月締めで 2021 年 10 月 1 日を期首として 2022 年 9 月 30 日を期末として計算されている。2021 年度はコロナ禍でレースが開催されずその影響で加入申請艇数は 7 艇であったが、2022 年度にはレースが再開され始めたこともあり、加入申請艇数は 19 艇に増加し、それにより収入は 247,005 円。支出は 139,585 円。当期収支差額は 107,420 円となった。前期繰越金と合わせて正味財産合計は 671,124 円となった。しかし現在の無線機が壊れると 60 万円では購入できない為、大事に使いながら繰越金を増やしていきたいとの報告があった。これに対して、尾山理事から関東の他団体との契約が自動更新されていることを確認し、特別費用が発生した時には各団体で折半することを確認した。また免許更新状況改善のため総務省への働きかけも継続してよろしくお願いしますとの要請があった。以上をもってみさきヨット会計報告は承認された。

3. 5 月理事会までの間のレース・イベントの確認

荒嶋レース委員長から次回理事会までのレーススケジュールの確認報告があった。湘南レースは 4/9、5/14 に開催。

当クラブ協力の小笠原レースは 4 月 23 日三崎沖スタート。当クラブはスタートをサポートする。小網代ヨットクラブハウスを 4 月 22 日（土）艇長会議と懇親会の場として提供することとなり、受付など会員の方からサポートがあると助かりますとお願いがあった。スタートは小網代沖浮標と本部船の間を予定し、本部船は外洋三崎から出艇すると報告された。また、飯島会長から補足として、スタート時は小笠原レースのレース

委員長がフィニッシュ対応のため、小笠原に出発して不在となるため、荒嶋理事に負担が大きくなることが予測される報告があった。

三輪理事より日本初のカテゴリー2のレースであることからスタート前のインスペクション艇長会議など本部と準備役割分担責任等をはっきりさせておいた方がいいと指摘があった。荒嶋理事はスタート、艇長会議を担当する予定と報告があった。

また、外洋三崎と共同開催のショートハンドチャレンジ1・2・3は5月13日に開催予定と報告があった。5月までのレース・イベントは承認された。

4. その他

- ・遠洋航海補助費用について

尾山理事から前回までの理事会で承認されたライフラフトの貸し出しの代わりにラフトをレンタルされる会員への補助費用金額について決めてはどうかと動議が出され、飯島会長の進行により予算が150,000円計上しているので1回につき30,000円の補助。先着5艇まで各艇1回。でスタートすることで承認された。

- ・救急救命講習の受講援助制度について

高木安全委員長から、救急救命講習の受講援助制度の草案を作成したので意見を伺いたいと提案があった。

対象となる講習はAEDを用いた実技講習とし、オンライン講習は対象外とする。補助金額は2,000円を想定。対象者はMOSCの会員のみか、MOSCの登録艇の乗船者も含めるか意見を求めた。乗船者まで広げた理由は、補助の目的が実技講習の経験者を増やすことにあるので登録艇の乗船者まで広げたと説明があった。この件に対し援助予算は特別計上していないのでAED予算を流用するか、そもそも船上でのAED使用はリスクが伴うから購入を見送るかなど様々な意見が出て、AEDに関しては5月の理事会での審議事項として持ち越すことを確認した。救急救命講習の受講援助制度の対象者についてはMOSCの会員と、MOSCの登録艇の乗船者も含めることが承認された。申込方法は事務局サイドと詰めることを確認した。

<報告事項>

1. JSAF 名誉会長 河野博文お別れ会報告

3月15日飯島会長が当クラブを代表してパレスホテルで開催された河野名誉会長お別れ会に出席したと報告があった。

2. 小笠原レース進捗について

荒嶋レース委員長から先に報告済み。

3. その他

- ・2024年日本～パラオレースの協力依頼について

飯島会長から、一般社団法人日本パラオ青少年セーリングクラブから、2024年日本～パラオレースの協力依頼がきたと報告があった。依頼先はJSAFと関東外洋4団体。今後当クラブとしてどう関わっていくか理事会で審議していきたいと提案報告があった。

- ・計測委員会より活動報告

北川計測委員長より、2月に横浜ベイサイドマリーナで2艇のORCC計測サポートを実施したと報告があった。

- ・ジャパンボートショー2023で児玉顧問がトークショー出演

尾山理事より、ジャパンボートショー2023 で児玉顧問が3月24日 14:30~ 45 分間「北前船の航路をたどるヨット旅」をテーマにトークショーに出演するとの報告があり、ぜひ聞きにいった下さいとの告知があった。

- ・神奈川県セーリング連盟創立 70 周年記念パーティーについて

飯島会長より、4月1日神奈川県セーリング連盟創立 70 周年記念パーティーの招待状を頂いたと報告があった。当日、飯島会長が出席できない為、今後県連との交流を広げるためにも代わりに荒嶋レース委員長に出席をお願いし、荒嶋理事の快諾を得て出席することが確認された。

- ・サバイバルトレーニング講習会について

参加した三輪理事からぜひ受けた方がいいトレーニングで、今後ヴェラシスでも開催される予定があるので強くお勧めしますと報告があった。

- ・ルール委員会よりセールナンバーの色について

セールのナンバーはセールと対照的な色でなければならないがまだ判読しづらい艇がある。これに対しプロテストなどが出た時の対応をルール委員会で協議していると報告があった。

飯島会長より本日の理事会の感想があり、次回の理事会は5月16日(火) 18時30分であることを確認した。

以上で本日の議事をすべて終了し、19時36分に理事会を閉会した。

以上

2023 年 月 日

議事録署名人